

5月

25日 土	11:30 1 アプレル	14:00 16 ジュジュ・ファクトリー	16:30 13 イズルー・ラミ	19:00 4 海を渡った美しき花
26日 日	11:30 5 ヤルク・フィキル他	14:00 6 さよならを言いたくて他	16:30 17 炎の戦士タスマ	19:00 8 マールンド
27日 月	11:30 9 記憶の守人たち他	14:00 10 ルワンダへ捧ぐ聖歌他	16:30 11 マックスとモナ	
28日 火	11:30 12 ジェルサレマ	14:00 13 イズルー・ラミ	16:30 14 ジョン・デューベ&時を越えた絆	
29日 水	11:30 15 軍靴と自転車	14:00 7 イセタ他	16:30 2 シネマ・イン・スーダン&森のこども	
30日 木	11:30 3 わが愛しのスーダン	14:00 1 アプレル	16:30 9 記憶の守人たち他	
31日 金	11:30 11 マックスとモナ	14:00 8 マールンド	16:30 4 海を渡った美しき花	19:00 3 わが愛しのスーダン

6月

1日 土	11:30 2 シネマ・イン・スーダン&森のこども	14:00 松本仁一氏トーク「アフリカの食」	16:30 6 さよならを言いたくて他	19:00 7 イセタ他
2日 日	11:30 10 ルワンダへ捧ぐ聖歌他	14:00 5 ヤルク・フィキル他 +ダウィット・ギルマ監督トーク	16:30 12 ジェルサレマ	19:00 13 イズルー・ラミ
3日 月	11:30 14 ジョン・デューベ&時を越えた絆	14:00 15 軍靴と自転車	16:30 16 ジュジュ・ファクトリー	
4日 火	11:30 17 炎の戦士タスマ	14:00 2 シネマ・イン・スーダン&森のこども	16:30 1 アプレル	
5日 水	11:30 4 海を渡った美しき花	14:00 3 わが愛しのスーダン	16:30 5 ヤルク・フィキル他	
6日 木	11:30 7 イセタ他	14:00 12 ジェルサレマ	16:30 8 マールンド	
7日 金	11:30 6 さよならを言いたくて他	14:00 9 記憶の守人たち他	16:30 10 ルワンダへ捧ぐ聖歌他	19:00 11 マックスとモナ
8日 土	11:30 13 イズルー・ラミ	14:00 14 ジョン・デューベ&時を越えた絆	16:30 15 軍靴と自転車	19:00 9 記憶の守人たち他
9日 日	11:30 15 ジュジュ・ファクトリー	14:00 17 炎の戦士タスマ	16:30 6 さよならを言いたくて他	

トークゲスト 松本仁一(朝日新聞元中東アフリカ総局長、著書「アフリカを食べる」『アフリカ・レポート』他)
ダウィット・ギルマ(『ヤルク・フィキル』“遠距離恋愛” 監督)



ヨコハマ創造都市センター
〒231-8315
横浜市中区本町6-50-1
Tel. 045-221-0325

- みなとみらい線「馬車道駅」
1b出口(野毛・桜木町口(アイランドタワー連絡口))
- JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分
- ※当施設には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。



5 フンジ



14 ジョン・デューベ
—知られざる
ANC初代議長の生涯



第5回アフリカ開発会議 (TICAD V)
パートナー事業

特別上映

アフリカ人の描くアフリカ



アフリカ人の眼差しの先にあるアフリカを!

6 さよならを言いたくて

長編・短編合わせて29本のアフリカ映画を特別上映します。
シネマアフリカ映画祭など、国内で上映された際にも
好評を博した作品を9カ国から集めました。
長編11本、中短編18本を17プログラム
に分けて上映します。



小沢剛・高木正勝 アフリカに行く

日本とアフリカを繋ぐ
2人のアーティスト

小沢剛はガーナへ、高木正勝はエチオピアに渡航し、
それぞれのアフリカ体験をベースにした新作の展示・映像を発表

会期 = 5月25日(土) - 6月9日(日)
会場 = ヨコハマ創造都市センター
入場無料
主催 = 国際交流基金
(お問合わせ)
国際交流基金 文化事業部 欧州・中東・アフリカチーム
Tel. 03-5369-6063 Mail: ticad5@jpf.go.jp
http://www.jpf.go.jp/j/culture/new/1304/04-03.html

シネマアフリカ2013映画祭 CINEMA AFRICA 2013
アフリカが語るアフリカ! 「ノリウッド」と呼ばれるナイジェリア映画特集ほか、
新作を含む17本の厳選アフリカ映画を上映、監督によるトークも!



(主催・お問合わせ) シネマアフリカ実行委員会 Mail: info@cinemafrica.com http://www.cinemafrica.com

会期 = 2013年5月17日(金) - 23日(木)
会場 = オーディトリウム渋谷 Tel. 03-6809-0538
入場料 = 1回券 ¥1,500 (当日) ¥1,200 (前売)
3回券 ¥3,600 (当日) ¥3,300 (前売)

5月25日(土) - 6月9日(日)
入場無料 ※すべて日本語字幕付、DVD上映

会場 = ヨコハマ創造都市センター
地下1階スペース

1 アブレレ 微笑の戦士 Abrel
(エリトリア/140分/2007年/監督:ゼライ・ミスン/
ドラマ)

冗談好きの人気者アブレレだが、小さな誤解が元で学校を追われ、やむやまれぬ罪で刑務所へ。刑期が明け恋人とまだ見ぬ娘に会いに行くが、エチオピアからの独立闘争は激化し、アブレレもついに解放戦線へと身を投じることに。知られざるエリトリア現代史を駆け抜けた一人の男の物語。



2 シネマ・イン・スーダン: ガダラ・グバラの回想
Cinema In Sudan: Conversation with Gadalla Gubara
(スーダン/52分/2008年/
監督:フレデリック・シフエデス/ドキュメンタリー)
「映画の為に何でも売った。家も先祖伝来の宝も、妻さえも…」と豪語するガダラ・グバラは88歳になり失明したが、なおメガフォンを握り続ける。校閲と資金不足と闘った60年の不屈の映画人生に迫る。



森の子ども ウォレ・ショインカ
Wole Soyinka: Child of the Forest
(南アフリカ/52分/2009年/監督:アキン・オモトン/
ドキュメンタリー)

アフリカ初のノーベル文学賞受賞者であるナイジェリアの詩人・劇作家ウォレ・ショインカ。ピアフラ内戦時の22ヶ月間の投獄生活など波乱の人生を友人や作家たち、そして本人のインタビューで描く。



3 わが愛しのスーダン Our Beloved Sudan
(スーダン/93分/2011年/
監督:タグリド・エルサンフリ/ドキュメンタリー)
*第7回 UNHCR 難民映画祭上映作品
異なる人種で構成されたあるスーダン人家族が、内戦に翻弄される姿を通じて、混迷を極めるスーダンの現代史を描く。監督は、スーダン前首相のサディク・マハディやアニヤン運動を率いたジョセフ・ラグ将軍、SPLM 北部副事務局長のヤシール・アルマンなど、取材の難しい政治指導者たちにもインタビューし、内戦当時の状況を紐解きながら、南スーダン独立をカメラに収める。



4 海を渡った美しき花―立ち上がるディアスポラ
Migration of Beauty
(アメリカ/80分/2009年/監督:クリス・フラハティ/
ドキュメンタリー)

2005年、エチオピアでは混乱の国政選挙の末に、約200人の名もなき市民たちが殺された。事態に驚き、憤った在米エチオピア人たちは、母国へのアメリカからの援助を制限させるために、自分たちのアメリカ市民権を行使しようと立ち上がった。



5 アパートに住む魚 Fish in the Flat (予定)
(シンバブエ/13分/2007年/
監督:カリカイ・チワサリア/短編)
仕事から帰宅した長距離トラックドライバーのスカニンは、妻の不倫現場を目撃してしまう。しかも不倫相手は隣に住む男であった……。

ブンジ Pumzi
(南アフリカ・ケニア/20分/2009年/
監督:ワヌリ・カヒウ/短編)
*カンヌ・インディペンデント映画祭2010最優秀短編作品賞
第三次世界大戦の後の東アフリカ。自然は破壊し尽くされ、人類は外界から隔絶されたコミュニティを作りかろうじて生き延びていた。研究所のアシヤは、ある日、古い種と土壌を見つけ、禁じられた外界へと旅立った。

市場は違かった Mended
(エチオピア/20分/2006年/
監督:ウォルコウ・ダニエル・タイエ/短編)
*2006年カンヌ国際映画祭「監督週間」出品
エチオピアの田舎、ロバに乗って市場へでかけた父子は、市場への道すがら、数多くの人々の様々な「良い」助言を受けるのだが…。伝統的な寓話に軽妙に風刺が散りばめられたカンヌでも認められた佳作。



ヤルク・フィクル“遠距離恋愛” Yaruk Fikir
(日本・エチオピア/32分/2010年/
監督:ダウイット・ギルマ/短編)
日本人女性とエチオピア貴族の息子の間にもちあがった世紀的婚約話。大正時代からの日本とアフリカのつながりを描く。日本在住のエチオピア人若手監督による作品。

6 あててごらん Fora
(ルワンダ/7分/2009年/
監督:アユーブ・カッサ・マゴ/短編)

アサドはぼろぼろのカバンが恥ずかしくてたまたま、弟マリクの新しいカバンを羨んで弟を置き去りにしてきてしまう。



モト・オート・ワガ Moto Auto Ouaga
(ルワンダ/5分/2009年/監督:エリック・カベラ/短編)
アフリカは知的で創意工夫に満ちている。廃材を再利用し、超低コストでモノ作りをしており、環境保護の手助けともなっている。携帯電話で廃材利用の達人を撮った美談的な作品。

さよならを言いたくて From a Whisper
(ケニア/79分/2009年/監督:ワヌリ・カヒウ/ドラマ)
*2009年アフリカ映画アカデミー賞最優秀作品賞
98年ケニアの米大使館テロで行方不明になった母を探し続け心を閉ざした少女タマニと、寡黙なテロ捜査員のアブー、そしてアブーの親友でありテロ実行犯として死んでいったファリド、3人の運命が事件を中心に交錯する。

7 アルフォンスの自転車 Alphonse's Bike
(ルワンダ/10分/2007年/監督:エリック・カベラ/短編)
ゴリラの住む山の麓。森から突然、ラジオの音が。驚く監督を、子供たちが大喜びである男の元へ引っ張っていくと、そこには…。偶然が生んだ心温まる笑いと希望のドキュメンタリー。

アルフォンスの人生航路 Alphonse's Journey
(ルワンダ/17分/2009年/監督:エリック・カベラ/短編)
創意工夫で作った「スーパー自転車」が、ある村の男の運命を変えた! 前作「アルフォンスの自転車」で一躍町の有名人となったアルフォンスのその後の人生と、村中総出で祝われたアルフォンスの結婚式を追う。



イセター―道路封鎖の背後で
Iseta—Behind the Roadblock
(ケニア・ルワンダ/55分/2008年/監督:ジュアン・レイナ、エリック・カベラ/ドキュメンタリー)
虐殺の現場を撮影した唯一のジャーナリストが、14年後、映像に写った人々の村を訪れる。突如現れた当時の真実を語る映像に、村には大きな衝撃が走る。罪を否定する加害者、癒えない傷を抱える遺族や村人が一堂に会し……。



8 マルーンド―恋の脱出大作戦! Malooned
(ケニア/100分/2007年/監督:ボブ・ニャンジャ/ドラマ)
拳銃を控えた美人受付嬢と、結婚生活に行き詰まったビジネスマンが事故で高層ビルのトイレに閉じ込められた! ケニア2大民族のキクユとルオ出身の2人は…。軽快な笑いの中に現代ケニアの抱える問題も見えてくる話題作。

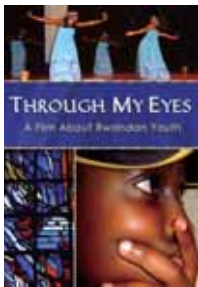


9 記憶の守人たち Keepers of Memory
(ルワンダ/52分/2004年/監督:エリック・カベラ/
ドキュメンタリー)
自らも多くの家族を失った監督が94年の虐殺から10年を経て、全国の現場を訪ね歩き、犠牲者の遺族や、時に加害者が語る当時の状況を克明に記録する。



わたしの目を通して Through My Eyes
(ルワンダ/43分/2004年/監督:カピラ・マツ/
ドキュメンタリー)

現在のルワンダの若者に焦点をあてた。「若者」とは、94年の大虐殺で暴走した者たちでもあり、若者が虐殺を乗り越えることは、ルワンダの大きな希望である。



10 卒業ふたたび 僕らは未来へ向かって歩き出す
(ルワンダ/27分/2006年/
監督:アユーブ・カッサ・マゴ/短編学生映画)
青年サゴは、国一番の大学を優秀な成績で卒業、パーティを開いてもらう。そこである男から「世界のもう一つの秘密」を教えてもらう。ビジネスマンになったサゴは、「秘密」に手を伸ばし…。現代ルワンダの一面。

サミイ、キガリへ行く
(ルワンダ/32分/2006年/監督:オマー・M・シボマ、ギルバート・ンダハヨ/短編学生映画)
サミイは、貧しい農村での生活に嫌気が差して、友達シムチェブを誘って、キガリ目指して村を出た。初めての都会は冷たかった。サミイはバスの運転手になり奮闘する。ある日、裕福な未亡人が現れ、運命は大きく変わり始める…。

11 マックスとモナ Max and Mona
(南アフリカ/97分/2003年/
監督:チディ・マツテラ/ドラマ)

アフリカの葬儀には必須の「泣き男」として類まれな才能を持つ村の青年マックス。意気揚々と大都会へ旅立つが、頼りの叔父は冷血なダメ人間。マックスの「泣き」の才能で稼げると気付いた叔父は金儲けをたくらみ…。



12 ジェルサレマ Jerusalem
(南アフリカ/118分/2008年/
監督:ラルフ・ジマン/ドラマ)

ヨハネスブルグのダウンタウン。クネネは、不動産犯罪者のボスにのし上がり、絶えず法律との闘いや抗争にもまれながら生き抜いてきた。いまだにアパルトヘイトに深く影響されている人々の暮らしを描く社会派ドラマ。



13 イズルー・ラミ Izulu Lami—My Secret Sky
(南アフリカ/96分/2008年/監督:マドタ・ンカイヤナ/
ドラマ)*なら国際映画祭2010上映作品

母を亡くした村の少女テンピ。形見の伝統的な手織りのゴザを、母の夢だった工芸品コンテストに出品しようとして幼い姉弟だけで大都会ダーバンへ向かう旅に出る。都会にもまれながら成長し、自分自身の夢を見つけていく少女を描く。



ルワンダへ捧ぐ聖歌
(ルワンダ/35分/2006年/
監督:ティエリ・ダシユミリマナ/短編学生映画)
ツチの少女マルタ、フツの青年ルコンドは学校の合唱団に所属。ルコンドはマルタの美しい歌声に魅せられる。しかし、悪化かあい近づき始めた二人の間に、悲劇の記憶が甦る。



14 ジョン・デューベ
—知られざる ANC 初代議長の生涯
Oberlin-Inanda: The Life and Times of John L. Dube
(アメリカ/52分/2005年/監督:シェリア・ケイタ/
ドキュメンタリー)

ANC(アフリカ民族会議)の初代総裁デューベ。19世紀のアメリカで受けた教育と、政治的・経済的独立を求める彼の闘いのつながりを見出し、今日の民主的な南アフリカにおける彼の不朽の伝説を描く。

時を越えた絆―孤高の白人宣教師の足跡
Cemetery Stories : A Rebel Missionary in South Africa
(アメリカ/54分/2009年/監督:シェリア・ケイタ/
ドキュメンタリー)

型破りな米国人宣教師ウィルコックスは白人支配体制へ内側から楔を打ち込むために、ズールーの青年に米国内で教育を与える。その青年は後に黒人解放運動の大きな推進力となったデューベ。南ア・米国の知られざる絆が語られる。

15 軍靴と自転車―第二次世界大戦で戦った南アフリカ人
A Pair of Boots and a Bicycle
(南アフリカ/82分/2007年/監督:ピントセト・モロイ/
ドキュメンタリー)

なぜ抑圧された側が抑圧する側の為に戦わなくてはならないのか? 青年監督がソウエトの退役軍人の歴史を辿る旅にでる。



16 ジュジュ・ファクトリー Juju Factory
(DRコンゴ/97分/2007年/監督:バババ・カンニダ/ドラマ)*なら国際映画祭最優秀作品賞

ベルギー在住のコンゴ人ライターは、意に染まぬエキゾチックな内容のコンゴ旅行本の執筆依頼を受けるが、コンゴの歴史や先人たちにつながる見えない道に入り込み、もがく。混沌とした歴史の中で毅然と胸をはることは可能なのか?



17 炎の戦士タスマ Tasuma the Fighter
(ブルキナファソ/90分/2003年/
監督:ダニエル・コロ・サヌ/ドラマ)

ソコ・サヌは退役軍人。かつてはフランス植民地軍としてインドシナとアルジェリアで戦闘に参加した。長年待ちわびていた恩給がようやく支給されそうなので、村の女性たちの為に製粉機をツケで買ったが恩給の支給は遅れに遅れて…。

